

おおすきまち
大杉町のチャボガヤ

種 別	小松市指定文化財 天然記念物
指定年月日	昭和52年11月2日
所在地	大杉町

チャボガヤはイチイ科カヤ属に属する植物である。多雪地帯に適応した生態があり、山形県以西の日本海側に分布する。雌雄異株の常緑樹であり、主に山地に自生する。枝は高さ1~2メートルを這うようにして広がるのが特徴であり、樹幹は根元から数本生える。またチャボガヤの種子は肉質の仮種皮に被われ、はじめ緑色で熟すと紫色になる。

当地方では、チャボガヤは単に「ガヤ」と呼ばれる。このチャボガヤは、小谷川沿いに自生し、高さ2.2メートル、横には長径16.5メートル、短径8.7メートルに及ぶ広がりを持つ、当地方では稀な大樹である。また樹勢は良く枯れ枝も見られない。



チャボガヤの果実
(仮種皮に覆われた種子)